

徳川 直人 (TOKUGAWA Naoto)

1961年、徳島県生まれ。1985年3月、東北大学文学部卒。1990年3月、東北大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。同年4月より北海道教育大学助手。その後、同大学の講師、助教授を経て、1998年に東北大学大学院情報科学研究科助教授に転任、2007年同准教授に至る。2006年、博士。

専門は、G.H. ミードの社会理論、シンボリック相互作用論。同時に、農村社会のフィールドワーク（北海道深川市、別海町など）にも取り組んでいる。

主要業績

論文

- ・2004b, 「G.H. ミードにおける科学と実践」 宝月誠・吉原直樹編 『初期シカゴ学派の世界思想・モノグラフ・社会的背景』 恒星社厚生閣, 2-26 頁.
- ・2004a, 「サムナー、ウォード、スモールにおける「科学」と「改革」」 宝月誠・吉原直樹編 『初期シカゴ学派の世界思想・モノグラフ・社会的背景』 恒星社厚生閣, 2-26 頁.
- ・2001c, 「学校教育と階級/階層・ジェンダー・エスニシティ」 笹谷春美・小内透・吉崎祥司編 『階級・ジェンダー・エスニシティ 21世紀の社会学の視角』 中央法規, 200-220 頁.
- ・2001b, 「ローカルな知と自己内省」, 『社会学年報』(東北社会学会) 30:1-18 頁.
- ・2001a, 「語りの『個と共同性』」 リサーチ行為とイデオロギー研究への一視角」 北村寧・佐久間孝正・藤山嘉夫編 『新世紀社会と人間再生』 八潮社, 116-133 頁.

単著

- ・2006, 『G.H. ミードの社会理論 再帰的な市民実践に向けて』 東北大学出版会.

共編著

- ・1996, 『ゆるる世界と知の複合』 東京書籍.(宮崎正勝・竹内 康浩と共編)
- ・2002, 『相互行為の社会心理学』 北樹出版.(伊藤勇と共編)

翻訳

- ・1991, G.H. ミード著 『社会的自我』 恒星社厚生閣.(船津衛と編訳)

リンク

- ・ [いわゆる公式サイト](#)
- ・ [東北大学大学院情報科学研究科社会構造変動論](#)

研究カテゴリ